

2020年9月8日

## 『骨転移外来』を開設します ～がん専門病院ならではの外来～

栃木県立がんセンターでは、骨転移による痛み・麻痺・骨折を予防、治療するための『骨転移外来』を9月10日から開設します。

『骨転移外来』では、がん患者さんの生活の質を維持しながら高度ながん治療ができるように、多科連携によるサポートを積極的に行います。

### ○骨転移とは

体の一部にできたがんが、血液を巡って骨に転移することをいいます。

全てのがんで起こる可能性があり、骨転移した場所や大きさなどによって、局所の痛みや、近くの神経を圧迫することによって起こる神経症状(麻痺・しびれ・神経痛など)が生じます。

また、骨に入り込んだ腫瘍の組織により正常な骨の構造が破壊されることから、通常よりも弱い力で骨折することもあり、がんの痛みの最も大きな原因になります。

初期には多くの場合無症状ですが、適切な治療を行わなければ徐々に痛みやしびれが増悪し、歩行困難や寝たきりになるなど、生活の質を低下させるきっかけとなることが多い病態です。

### ○骨転移外来 <第2・4木曜日 PM>

骨軟部腫瘍・整形外科及びがんリハビリテーションセンターが中心となり、骨転移による痛み・麻痺・骨折などを未然に防ぎます。

また、起きてしまった痛み・麻痺・骨折などに対し、一般的な整形外科診療に加えて、骨修飾薬や放射線治療の導入、外科手術など、患者さんにあわせた治療を行います。

がん患者さんの生活の質を維持することができるように、多科連携によるサポートを積極的に行います。

#### <お問い合わせ>

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13  
地方独立行政法人栃木県立がんセンター  
広報広聴センター 池田・佐藤  
(電話番号)028-658-5151(代表)  
(ホームページ)<https://tochigi-cc.jp>